

遊空間

遊ぶ
学ぶ
白神
永井雄久

~~3~~

水生昆虫をいっぱい捕まえたぞ



リース作り

白神山地の核心部分に源流を持つ赤石川は金鮎が有名で、解禁日となると全国から渓流釣りが訪れる知る人ぞ知る渓流釣りの川である。

その赤石川で、白神自然学校は毎年川遊びを行っている。網とルーペ、バケツを持って石ころをひっくり返し、いろんな虫を発見する。カワゲラやサワガニ、ゲンジボタル、カワニナ、ヘビトンボ、ナガレトビケラ、コオニヤンマなどが発見される。

子どもたちは図鑑を見ながら、名前を確認しては大きな声で喜んでいる。昔の川ガキの姿である。昔は近くの川で子ども

もたちは遊んだものだが、近ごろは川遊びする環境が少ない。だが鱒ヶ沢町の赤石川は、子どもたちにとって川遊びの天国である。

川底に足をすくいな

リース作りと水生昆虫

五感のスイッチ磨く

ら網を入れると、カジカが入ってくる。川岸のやぶに網を入れて足をバタバタやると、川ガニが入ってくる。毎年子どもたちの喜びの歓声が響き渡

ら網を入れると、カジカが入ってくる。川岸のやぶに網を入れて足をバタバタやると、川ガニが入ってくる。毎年子どもたちの喜びの歓声が響き渡

ら網を入れると、カジカが入ってくる。川岸のやぶに網を入れて足をバタバタやると、川ガニが入ってくる。毎年子どもたちの喜びの歓声が響き渡

ら網を入れると、カジカが入ってくる。川岸のやぶに網を入れて足をバタバタやると、川ガニが入ってくる。毎年子どもたちの喜びの歓声が響き渡

る赤石川は、冷たい川だけどきれいな水にすむ水生昆虫がいっぱいである。バーチャルなテレビゲームの世界では磨かれない五感力が体感できる遊びである。

季節は冬になるが、クリスマスのは、白神自然学校ではリース作り教室を開催している。毎回、小さなお子さんを背中

ざまな貝や、杉の葉をベースとしたリース作りを行っている。細かい針金やボンドを使い、頭をフルに使い模様を考えていく。想像力が豊かでないとなかなかデザインが決まらない世界である。

に遊べるが、自然界を五人)